２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. １０

幼児教育研修（施設長）　　受講者数１０９名

日時　令和３年６月２２日（火）　１５：００～１７：００
場所　竹の塚地域学習センター
講師　東京家政大学　子ども学部子ども支援学科　教授　加藤　繁美氏

【内　容】
「時代が求める“保育の質”を問い直す」

保育の質を高めるためには、園長のリーダーシップが不可欠です。子どもの声を大事に受けとめ、子どもを尊重する保育が展開されるよう、園長自らが保育の本質、保育のあるべき姿を問い直し、学びを深めます。

講師　加藤　繁美氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- 正解のない問題を自ら解決し、切り開いていく子どもを育てるには、乳幼児期に身近な大人に応答的に関わってもらい、対話の中での経験を積み重ねることが必要だと分かった。
- 自分の声を聞きとられる喜びを知った子どもは、相手の声を聞きとろうとすることを学んだ。対話とは説明することではないことも再確認できた。今後も子どもの考えや小さな言葉に耳を傾けていこうと思った。
- 保育者の期待を主にして子どもをみとる「～しか」「～だけ」の教育学から、子どもの現在を主にしてみとる「～を」「～なら」への変換が大切であることをあることを学んだ。保育場面や記録からエピソードを拾い、子どもの権利が十分保障されているのかを園職員と一緒に考え、子どものみとり方、保育者のかかわり方を具体的にわかりやすく伝えていきたい。
- 保育実践記録を通して、子どもや保育者の行動や言葉かけが分析され、保育を振り返ることができる。繰り返し行うことでリスニング力も高めていくことができると学んだ。研修後、職員にエピソード日誌を書いてもらうよう実行に移した。
- 自我から第二の自我へ順序性をもって育つことの重要性を感じた。２歳児の自我、４歳児の第二の自我が現れる時期に、保育者は丁寧に子どもの声を聞いて、受け止めて返す関係作りが大切だと学んだ。その先の育ちに大きく影響することを施設長として職員にしっかり伝えたい。

＊　ご意見・ご感想

- 加藤先生の講義は何度受講しても学びが多い。育てていきたい職員像を思い浮かべ、そのために施設長としてできることは何かを改めて考えていきたい。
- 力強い講義を聞き、やはり子どもは素晴らしいと感じた。保育を学ぶことの奥深さを再確認することができた。
- 実践記録を交えながらの講義はとても分かりやすく、大事なキーワードや心に残る言葉が多かった。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.１２・１７

「足立区教育・保育の質ガイドライン」職員育成研修
『保育の基礎を学ぶ』

日時・場所　令和３年６月 28 日（月）14：00～16：00　**受講者数　62 名**
足立区勤労福祉会館　２階　第一ホール
令和３年７月　１日（木）18：00～20：00　**受講者数　57 名**
足立区竹の塚地域学習センター　４階　ホール

講師　東京成徳大学　子ども学部　子ども学科
教授　善本　眞弓　氏

【内　容】　「足立区教育・保育の質ガイドライン」に基づく～保育の基礎を学ぶ～

日々の保育の中で、子どもや保護者対応などに悩み、不安を感じ立ち止まってしまうことなどに関し、子どもたちへの関わりや対話の仕方、保護者対応など、どう考え、取り組んでいけばいいのか保育の基礎を学ぶだけでなく、さらに自分の保育を振り返る機会として捉え明日からの保育に役立てる。

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・子どもが何をしたかったのか、何で泣いているのか、何を伝えたいのかと考え続けることで、「気持ちが通じ合う」ことに少しずつ近づける気がした。
・子どもが遊びやすく、遊びたいと思える環境づくりを学べて、大変有意義だった。
・子どもたちと一緒に遊びを楽しみ、「もっと」「もう一回」「おもしろい」と感じられる保育を実践していきたい。
・自分の考えや思いだけで保育をするのではなく、子どもの思いや気持ちを理解しようとし、受け入れながら保育を行いたい。
・専門性に裏打ちされた愛情を持って、とにかく子どもを可愛がりたい。
・甘えてくる子どもの気持ちを受け止めながら、「伝えてくれてありがとう」という気持ちで関わっていきたい。
・大人の指示で、子どもの興味や安心感をなくさないようにしたい。
・注意するだけでなく、どんな気持ちだったかを理解してあげたい。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.２２

幼児教育研修（副園長・主査・リーダー研修）　　受講者数　９３名

日時　令和３年９月１５日（水）～１０月６日（水）オンデマンド研修
講師　鳥飼総合法律事務所　弁護士　木元　有香氏

【内　容】
～リーダーの役割と危機管理を学ぶ～
　知っておきたい基本的な法律の知識を学ぶと共に、保育現場で起こり得る様々な事例を具体的な説明を交えながら聞き、理解を深める。

【受講者の感想】
＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか
・保育の研修では得られない法律の専門家の視点での解説であり、分かりやすかった。保育との関わりも深く学んでいかなければならないと感じた。
・法律の話は正直難しかったが、先生もお話されていたように、事例を考えていく上で、前もって基本的な法律について知ることで、より深く考えていくことができた。
・様々な危機管理について職員間でのヒヤリハットの共有をし、何か気付いたこと、おかしいなと思ったことは相談し話し合っていきたい。
・「以前から危ないと思っていた」ということがないようにヒヤリマップを職員の目に留まるところに貼り、日々の中で危ないと思ったことを付せんに書き留め、会議の中で話し合いの場を設け対応策を考えていく。
・施設内の危険個所の確認や散歩時の危険の想定など、まだ改善の余地があると気付いたので、自分だけでなく職場全体で考えていく。
・園の危機管理マニュアルを見直したり、知らないことは調べるなどしてリスクに対しての知識をつけていきたい。
・沢山の判例を出してもらい、今までニュースでしか知ることがなかったことも、身近に起こりうることなのだと分かった。この仕事は命を預かる重大な責任があり、安全への配慮の重要さを改めて感じた。

＊　ご意見・ご感想

・弁護士の方の話を聞く機会はないので今後も取り入れて欲しいと思った。保護者の方への対応など、もっと細かく聞いてみたい。